

やまがた出会いサポートセンター
第3回運営委員会 議事要旨

日時：平成27年9月10日（木）
14時35分～16時
場所：山形県庁 7階 701会議室

(1) 出会い支援サービス事業の現状と課題について

<委員側>

登録者数等の目標設定の根拠を踏まえた人口構造の分析により、必要な戦略が見出せるのではないか。

<事務局側>

そうした分析が不足している。指摘を踏まえ、必要な解析を行いターゲットはより明確にしたい。

<委員側>

会員数は着実に増えているものと思う。退会数が気になるが、退会の理由は、

<事務局側>

退会理由は、成婚又は他での交際成立である。

<委員側>

まだまだPRが足りない。8月の登録数の増は、プレスリリース等によりマスコミに取り上げてもらった効果もあるのではないか。

<事務局側>

ある程度の効果はあったものと思う。今後も適時の情報提供を図っていきたい。

<委員側>

PRに協力しているが効果測定できていない。県庁職員を対象とした応援体制がしっかりしている印象を持ったので参考にしたい。

<委員側>

取組みの現場や登録状況を見ると、県全体でもそうだが、女性が集まらない。これではマッチングにも限界がある。対策はないか。

<委員側>

地元の取組み等に普段参加しないような人にサービスを知ってもらうことが大事。

<委員側>

イベントや市報、ホームページ等でPRしているが周知は限定的なので、映像等によるポジティブキャンペーンは期待できるのでは。ネットで話題になれば若い人に有効。なお、地域によってはセンターとの距離感が否めない。

<委員側>

広報してもなかなか浸透しない。親御さんからの相談が多いが本人の気持ちが分からないのが気掛り。婚活は議会でも議論になっていて関心が高い。

<委員側>

女性の登録者数が少ないのが大きな問題。イベント等でも女性の集まりが悪いと聞くのでどう改善していくかが課題。センターに行かないと見られない情報もあるが、今の終業時間では仕事が終わってからは行きづらい。県内に2か所だけということで、行くのに時間がかかるのも課題。

<事務局側>

女性が集まらないのは大きな課題と認識している。パンフレットも女性を意識して作成し、当面、女性を対象としたイベントでのPR等で女性の会員獲得に向け取り組むとともに、今後、県外女性との交流機会の創出なども含め、さらに取り組んでいきたい。開所時間等の問題についても、利用状況を分析の上、検討していきたい。

(2) 結婚・子育てポジティブキャンペーン事業業務委託について

(3) 応援会員登録制度について

<事務局側>

登録制度の運用はこれからになるが、協力事項を明確化することで出会い支援サービスの利用拡大につなげていきたい。今後、具体的に働きかけていくが、各市町村等にも協力をお願いしたい。管内企業への案内等を検討いただきたい。詳細は来月中に示したい。

(4) 負担金の納入について

<事務局側>

10月中に11月30日納期の請求書を発出する運びで進めたい。なお、来年度については、市町村政連絡協議会に同額負担を申請しているところである。

(5) その他

<委員側>

結婚と子育てのポジティブキャンペーン展開ということで、企業訪問の際は、企業の子育て支援に関する取組みについても、併せて働きかけてほしい。

<事務局側>

ワーク・ライフ・バランスの推進が、結婚・子育て、出会いの創出につながるものと考えている。指摘を踏まえ、センターのPRと併せて働きかけたい。

<事務局側>

昨年から、土曜日曜の開所、水曜の終業時間延長と、開所日時を拡大して利便性の向上を図ってきた。現在、木曜金曜を休所日としているが、人員も増えたので、休所日の見直しによる利用拡大を検討している。

<事務局側>

次回開催は11月19日の予定。次回の議題の中心は来年度事業計画。共通の土台として、市町村等の意見（センターに期待する役割）を踏まえ議論する。開催の前に、来年度予算の検討がスタートするので、全構成団体に意見照会し、意見を踏まえ原案を準備したい。

以上